

製品名: SV2C ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18464**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	82kDa

抗原情報

遺伝子名	SV2C
別名	SV2C; KIAA1054; Synaptic vesicle glycoprotein 2C
遺伝子 ID	22987.0
SwissProt ID	Q496J9
免疫原	ヒト SV2C の内部領域由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲 330-390

背景

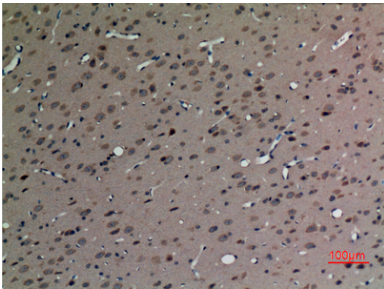
機能: 神経細胞と内分泌細胞における調節分泌の制御に関与し、選択的に低周波の神経伝達を増強する。容易に放出可能な分泌小胞プールを維持することにより、小胞融合を正に制御する。PTM: N-グリコシル化されている。類似性: 主要促進因子スーパーファミ

リーに属する。細胞内局在：小型シナプス小胞と副腎ミクロソームに豊富に存在し、クロマフィン顆粒には存在しない。膵臓のインスリン分泌細胞において、インスリン顆粒とシナプス様微小小胞の両方と関連する。サブユニット：カルシウム依存的に SYT1 と相互作用する。機能：神経細胞と内分泌細胞における調節分泌の制御に関与し、選択的に低周波の神経伝達を増強する。分泌小胞の放出しやすいプールを維持することにより、小胞融合を正に制御する。PTM：N-グリコシル化。類似性：主要促進因子スーパーファミリーに属する。細胞内局在：小型シナプス小胞および副腎ミクロソームに豊富に存在し、クロマフィン顆粒には存在しない。膵臓のインスリン分泌細胞において、インスリン顆粒およびシナプス様微小小胞の両方と関連する。サブユニット：カルシウム依存的に SYT1 と相互作用する。

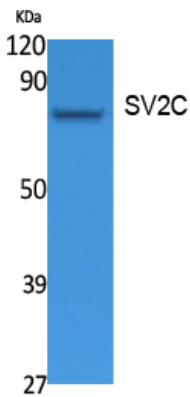
研究分野

ECM-受容体相互作用;

画像データ



パラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



SV2C ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。